

議会だより ふたば

第143号
令和5年6月

発行：双葉郡双葉町議会
編集：双葉町議会報編集委員会
〒979-1495
福島県双葉郡双葉町大字長塚字町西73番地4
☎ (0240) 33-0309



双葉町役場



JR双葉駅



東日本大震災・原子力災害伝承館



双葉北小学校

春の遠足、楽しかったよ！～ふたば幼稚園、双葉南・北小学校～

主 な 内 容

令和5年第1回定例会

- ・このようなことが決まりました…………… P 2～5
- ・一般質問…………… P 6～10
- ・全員協議会・行政視察…………… P 11
- ・議会のうごき…………… P 12



が決まりました

令和5年度当初予算

総額169億9,000万円

前年度より41億1,000万  DOWN

令和5年第1回議会定例会は、3月8日から16日までの9日間の日程で開かれました。
条例の制定・廃止・改正、契約変更、町道路線の廃止・認定、令和4年度補正予算、令和5年度当初予算、議員発議などが提出され、いずれも原案のとおり可決されました。
内容は次のとおりです。

会 計		予 算 額	前 年 度 比
一 般 会 計		169億9千万円	41億1千万円 ↘
特 別 会 計	国民健康保険	12億7,565万7千円	1,720万8千円 ↘
	公有林整備事業	165万9千円	28万7千円 ↘
	公共下水道事業	3億7,114万1千円	7億4,161万7千円 ↘
	介護保険	10億4,260万4千円	1,448万5千円 ↘
	後期高齢者医療	9,671万9千円	622万9千円 ↗

※詳しい内容は広報ふたば5月号をご覧ください。

契約の変更

下水道維持補修工事（新山工区）請負契約
工事内容変更による契約金額の変更
変更前 9,889万円
変更後 1億5,850万2千3百円

主な補正予算

事業費の確定などにより多くの科目で減額補正となりました。

町道路線の廃止

福島県復興祈念公園事業及び細谷地区海岸の公共災害復旧事業に伴い、町道路線を整理するため道路法第10条第1項の規定に基づき廃止するもの

路線番号	路線名	起 点 終 点	総延長	路線番号	路線名	起 点 終 点	総延長
312	観音堂・細田線	大字両竹字観音堂27番地先 から 大字両竹字細田78番地先 まで	578.6m	346	陳場沢・関ノ入線	大字郡山字陳場沢4番1地先 から 大字郡山字関ノ入25番1地先 まで	1,436.1m

町道路線の認定

福島県復興祈念公園事業及び細谷地区海岸の公共災害復旧事業並びに双葉駅西側地区生活拠点等整備事業に伴い、道路法第8条第1項の規定に基づき認定するもの

路線番号	路線名	起 点 終 点	総延長	路線番号	路線名	起 点 終 点	総延長
312	観音堂・細田線	大字両竹字観音堂28番1地先 から 大字両竹字細田61番2地先 まで	537.6m	528	駅西2号線	大字長塚字蛭子堂1番6地先 から 大字長塚字蛭子堂10番1地先 まで	164.0m
346	陳場沢・関ノ入線	大字郡山字島44番1地先 から 大字郡山字久保谷地149番地先 まで	1,411.4m	529	駅西3号線	大字長塚字蛭子堂5番8地先 から 大字長塚字蛭子堂58番地先 まで	43.2m
527	森合橋・宮ノ脇線	大字両竹字農師町195番1地先 から 大字中野字宮ノ脇31番地先 まで	423.5m	530	宮ノ脇線	大字中野字宮ノ脇25番4地先 から 大字中野字宮ノ脇28番1地先 まで	101.4m

**第1回
定例会**

3月8日～16日

このようなこと

条例の制定・廃止・一部改正

●双葉町個人情報保護法施行条例の制定

個人情報保護法の改正により、個人情報の保護に関する規律が改正後の個人情報保護法に統一されることに伴い、双葉町個人情報保護条例を廃止し、新たに制定

●双葉町個人情報保護審議会条例の制定

個人情報保護法に基づく個人情報保護制度の適正かつ公正な運営を確保するため制定

●地方公務員法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定

地方公務員の定年について、国家公務員と同様に、令和5年度から段階的に上げられることから関係する条例の整備を行うため制定

●令和5年度東日本大震災等による被災者に対する町税等の減免に関する条例の制定

東日本大震災及び原子力災害の被害を受けている納税義務者の税負担等の軽減を図るため制定

●双葉町生活支援・介護予防事業手数料条例の制定

双葉町生活支援・介護予防事業の利用に係る手数料について制定

●双葉町総合保健福祉施設条例の廃止

双葉町総合保健福祉施設（ヘルスケアふたば）について、東日本大震災に伴う建物被害調査結果及び建物の経年劣化を踏まえ、町民の健康の保持増進及び福祉の向上の場の施設として維持管理の継続が困難であることから廃止

●双葉町情報公開条例の一部改正

開示請求書に不備があり公文書の特定ができない場合等における規定を設けるため一部改正

●双葉町職員定数条例の一部改正

東日本大震災及び原子力発電所事故からの町の復旧・復興事業が本格化する中、町の復興を加速させていくために職員定数を増員するため一部改正

●双葉町職員の定年等に関する条例の一部改正

地方公務員の定年について、国家公務員と同様に、令和5年度から段階的に上げられることから一部改正

●双葉町教育委員会事務局の指導主事の給与に関する条例の一部改正

定年により退職した者の適用を除外するため一部改正

●双葉町地区公民館設置条例の一部改正

東日本大震災に伴う建物被害調査の結果により、半壊と判定された三字公民館、羽鳥公民館、中田公民館、下条公民館、下長塚公民館及び長塚二公民館並びに環境省による除染が行われ解体が可能になった寺松公民館の用途を廃止するため一部改正

●双葉町国民健康保険条例の一部改正

双葉町国民健康保険において出産育児一時金の支給額を引き上げるため一部改正

●双葉町議会の個人情報の保護に関する条例の制定

個人情報保護法の改正に伴い、議会における個人情報の取扱いについて規定するため制定

●双葉町議会委員会条例の一部改正

双葉町行政組織規則に定める各課系の事務分掌を踏まえ、各常任委員会の所管事務について一部改正

●双葉町議会情報公開条例の一部改正

公文書開示請求の際に開示請求に不備があり、公文書の特定ができない場合等における補正に関する規定を設けるため一部改正

令和4年度一般会計補正予算及び令和5年度一般会計予算に係る審議において、主な質疑内容は次のとおりです。

質疑内容

令和4年度 一般会計補正予算

【問】山根辰洋

農林水産業費の減額補正について、マンパワーや体制が原因で事業着手に至っていないと理解しているが、どういう見解をお持ちか伺う。

【答】町長

震災から12年が経過し、避難先でのコミュニケーション形成が進んでおり、交流が生まれ、いろいろな取り組みが見受けられる。自治会を解散したからといって町として支援をしないということではなく、少人数の会合や集まりであつても町として出来る限りの支援を続けていく考えである。

【答】町長

現在、国や県から専門的な知見を持った職員を派遣いただき、体制としては強化しているが、事業を進める上では、地権者等関係者の理解が必要である。町の考えをしっかりと説明し、理解いただけるよう取り組んでいく。

【答】町長

体制ではなく、各分野の未調整によるものと認識している。

令和5年度 一般会計予算

【問】岩本久人

自治会運営補助金について、会員の高齢化やコロナ禍で活動できず、解散や中止を余儀

【問】岩本久人

営農再開に向けては、営農に関わる方の意見を聞き、調整しながら進めなくてはならない。そのためにも体制づくり、マンパワー

【答】教育長

双葉町騎馬会と検討しながら進めていく。

【問】岩本久人

相馬野馬追双葉町騎馬隊の町内での出陣、凱旋の考えがあるのか伺う。

議員発議

請願の採択を受け、石田議員より、下記のとおり意見書（案）が提出され、全会一致で可決し関係機関に意見書を送付しました。

福島県最低賃金の引き上げと早期発効を求める意見書

新型コロナウイルス感染症は、ワクチン接種も進み、経済はゆるやかな回復基調を見せているものの、製造業を中心に海外サプライチェーンの影響が続く、部品不足、資材不足の影響で未だ生産調整などを余儀なくされています。コロナ感染症については、「福島県医療ひっばく警報」発令期間が終了し、国では2類から5類への移行が検討されていますが、県内の雇用と労働環境に及ぼす影響は不透明です。

また、国際情勢に起因する急激な物価上昇や円安の影響により、働く者の生活はより厳しさを増しており、経済・物価上昇に合った賃上げが喫緊の課題となっています。

加えて、コロナ禍以前からの課題である人手不足を補うための外国人労働者の増加やパート労働者、契約社員・派遣社員など雇用形態の多様化も依然としてあり、勤労意欲喚起による生産性向上と社会の格差是正を目的とした政府の同一労働同一賃金の趣旨に鑑みるとともに、コロナ感染の影響を見据えたセーフティネットの強化策及び人口流出抑制策としても最低賃金引き上げと早期発効は重要な政策でもあります。

つきましては、「賃金の経済政策」としての最低賃金引き上げの重要性を強く認識し、福島県最低賃金の引き上げと早期発効に関する次の事項について強く要望します。

1. 福島県最低賃金は、早期に1,000円を目指した引き上げを行うこと。
特に、国際情勢に起因する急激な物価上昇や円安の影響により、働く者の生活はより厳しさを増しており、経済・物価上昇に合った賃上げが喫緊の課題である現状を踏まえるとともに、政府の「骨太の方針2022」で、早期に最低賃金全国平均1,000円以上となることを目指すとした政府の積極姿勢を強く受け止めていただきたい。
2. 中小企業等が最低賃金引き上げ原資捻出のため、価格転換を始めとした環境整備の充実、強化を図ること。
3. 最低賃金引き上げは賃金の多寡と人口移動の相関関係も示されており、労働力確保や人口流出抑制等も多様な政策誘導として取り組むこと。
4. 福島県最低賃金の改定諮問時期は、労働者間の均衡や景気への影響も考慮し、可能な限り早め早期の発効に努めること。

令和5年3月16日

提出先 内閣総理大臣 厚生労働大臣 福島労働局長 宛

福島県双葉町議会

3月定例会の採決状況

件 名	議席番号	1	2	3	4	5	6	7	8
	議決結果	山根辰洋	小川貴永	作本信一	石田翼	菅野博紀	岩本久人	高萩文孝	伊藤哲雄
双葉町個人情報保護法施行条例の制定について	原可案決	○	○	○	○	欠	○	○	—
双葉町個人情報保護審議会条例の制定について	原可案決	○	○	○	○	欠	○	○	—
地方公務員法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について	原可案決	○	○	○	○	欠	○	○	—
令和5年度東日本大震災等による被災者に対する町税等の減免に関する条例の制定について	原可案決	○	○	○	○	欠	○	○	—
双葉町生活支援・介護予防事業手数料条例の制定について	原可案決	○	○	○	○	欠	○	○	—
双葉町総合保健福祉施設条例の廃止について	原可案決	○	○	○	○	欠	○	○	—
双葉町情報公開条例の一部改正について	原可案決	○	○	○	○	欠	○	○	—
双葉町職員定数条例の一部改正について	原可案決	○	○	○	○	欠	○	○	—
双葉町職員の定年等に関する条例の一部改正について	原可案決	○	○	○	○	欠	○	○	—
双葉町教育委員会事務局の指導主事の給与に関する条例の一部改正について	原可案決	○	○	○	○	欠	○	○	—
双葉町地区公民館設置条例の一部改正について	原可案決	○	○	○	○	欠	○	○	—
双葉町国民健康保険条例の一部改正について	原可案決	○	○	○	○	欠	○	○	—
下水道維持補修工事（新山工区）請負契約の一部変更について	原可案決	○	○	○	○	欠	○	○	—
町道路線の廃止について	原可案決	○	○	○	○	欠	○	○	—
町道路線の認定について	原可案決	○	○	○	○	欠	○	○	—
令和4年度双葉町一般会計補正予算（第8号）	原可案決	○	○	○	○	欠	○	○	—
令和4年度双葉町国民健康保険特別会計補正予算（第3号）	原可案決	○	○	○	○	欠	○	○	—
令和4年度双葉町公共下水道事業特別会計補正予算（第4号）	原可案決	○	○	○	○	欠	○	○	—
令和4年度双葉町介護保険特別会計補正予算（第4号）	原可案決	○	○	○	○	欠	○	○	—
令和5年度双葉町一般会計予算	原可案決	○	○	○	○	欠	○	○	—
令和5年度双葉町国民健康保険特別会計予算	原可案決	○	○	○	○	欠	○	○	—
令和5年度双葉町公有林整備事業特別会計予算	原可案決	○	○	○	○	欠	○	○	—
令和5年度双葉町公共下水道事業特別会計予算	原可案決	○	○	○	○	欠	○	○	—
令和5年度双葉町介護保険特別会計予算	原可案決	○	○	○	○	欠	○	○	—
令和5年度双葉町後期高齢者医療特別会計予算	原可案決	○	○	○	○	欠	○	○	—
双葉町議会の個人情報の保護に関する条例の制定について	原可案決	○	○	○	○	欠	○	○	—
双葉町議会委員会条例の一部改正について	原可案決	○	○	○	○	欠	○	○	—
双葉町議会情報公開条例の一部改正について	原可案決	○	○	○	○	欠	○	○	—
福島県最低賃金の引き上げと早期発効を求める意見書案	原可案決	○	○	○	○	欠	○	○	—
議会運営委員会の閉会中の所掌事務調査の件	決 定	—	—	—	—	欠	—	—	—

○：賛成 ●：反対 欠：欠席 退：退席

町政に切り込む!

一般質問

一般質問とは、議員が町の行政全般にわたり、執行機関に対し事務の執行の状況及び将来に対する方針等について所信をたずねるものです。

ここでは3月定例会に行われた一般質問の中で、特に注目したい質問を取り上げます。



【 作本 信一 議員 】

1. 旧特定復興再生拠点区域内の家屋解体除染について
2. 借上げ住宅の供与期間の延長について



【 高萩 文孝 議員 】

1. 新型コロナウイルスワクチンについて
2. 子宮頸がんワクチンについて
3. 復興まちづくり計画(第3次)について
4. 友好都市推進事業について



【 岩本 久人 議員 】

1. 令和5年度の重点施策・事業について
2. 補助金等の支援の在り方について
3. 当町の文化財保護について



【 山根 辰洋 議員 】

1. 町内の危険な構造物等の対応について
2. 民間人材を活用したまちづくり施策の推進について
3. 復興事業と地方創生事業を組み合わせたまちづくりについて





作本 信一 議員

答

問

申請期限を広報するとともに、
個別事情を抱える方に対し丁寧な対応を国に求める

旧特定復興再生拠点区域内の家屋解体・除染について、
町としてどのように対応していくのか



動画でも視聴可能です。

質問

旧特定復興再生拠点区域内には倒壊の恐れのある家屋が放置されており、防災・防犯上心配されますが、除染解体の申請期限が本年8月末と迫っており、町としてどのように対応するのか伺います。

町長答弁

町公式ホームページや「広報ふたば」で申請締め切りの周知を行っております。相続や東電賠償等の個別事情を抱えている方々に対しては、寄り添いながら丁寧に対応していくよう、環境省に求めています。

再質問

所有者不明、相続等の問題により除染解体の遅れが危惧されます。申請期限が迫っていることから、申請期限の延長を国に強く望むべきかと思いますが、お考えは。

町長答弁

避難指示解除後、おおむね1年という解体申請期限は、どの自治体も同じルールになっています。最終的には個人の財産に関わるものですので、行政としての限界もあります。帰還した住民の不安を払拭するよう、まだ判断されていない方には、丁寧に説明しながら

ら判断していただくよう、取り組んでまいります。



< 作本議員のその他の質問（概要） >

借り上げ住宅の供与期間の延長について

質問：福島県は借り上げ住宅の供与期間を令和6年3月末まで延長したが、今後も町として延長を要望するのか伺う。

町長答弁：生活再建に時間を要することから引き続き供与が必要と判断されているが、可能な限り早期に災害公営住宅等の恒久的な住宅にお移りいただくことが望ましいものと考えている。災害公営住宅等の整備状況を踏まえながら、供与期間の延長について福島県と協議していきたい。

再質問：供与期間が終了すれば転居を余儀なくされるため、来年延長されなかった場合には、現在入居されている方々の意見、要望等を聞いて速やかに対応すべきと考えるがいかがか。

町長答弁：高齢者や生活弱者の方々に対しては災害救助法とは違った対応を検討しながら、町としては丁寧に対応していきたい。



高萩 文孝 議員

質問

復興まちづくり計画(第三次)の一年目を終わろうとしているが、町長と教育長それぞれの評価を伺います。また、それぞれに問題になっていることはないか伺います。

町長答弁

町内での居住開始や町役場、町立診療所の開所、ダルマ市の町内開催など、皆さんの協力を得ながら着実に事業を推進しています。

会議等に参加していただく町民の方々には避難先から参加いただくなど、ご苦勞をおかけしま

問

答

復興まちづくり計画(第三次)を成し遂げるにあたり問題となっていることはないか伺う

避難先から会議や事業に集まる町民の方に苦勞をかけるがあらゆる機会を活用し皆さんの声を反映していく

すが、あらゆる機会を活用し皆さんの意見を反映していきたいと考えています。

教育長答弁

スクールバス運行事業や仮設校舎推進事業への取り組み、ICTを活用した教育環境の整備など計画通りに進めることができ、充実した教育環境が構築できたと評価しています。また、町内での学校再開を目指す学校設置検討委員会を設置することも決定しました。

一番の課題は学校教育の町内での再開と認識しています。学校の形態や在り方について検討を重ねてまいります。



また、伝統芸能などの各種団体における後継者確保や、これまで行政区や隣組等で管理していた文化財の管理、保存が今後の課題と考えています。事業を進めていくと見えてくる問題等もあると思います。町民の皆さまからご意見を頂戴しながら検討を進め、問題の解決に努めてまいります。

<高萩議員のその他の質問(概要)>

新型コロナウイルスワクチンについて

質問：ワクチンでの重篤、死亡例のうち双葉町民は何人いるか。

町長答弁：国から情報が示されないため、町では把握することができない。

再質問：町民の命にかかわることなので、把握する気持ちはあるか。

町長答弁：法に則って取扱いなど、十分注意して取り組んでいく。

子宮頸がんワクチンについて

質問：ワクチンにより重篤、死亡例が報告されているが、双葉町民の子宮頸がん罹患数について問う。また現在接種しているワクチンは安全性が問題になったものではないのか。

町長答弁：り患者数、死亡者数どちらも国から情報が示されないため、町では把握することができない。国では、ワクチンの効果とリスクを十分に理解したうえで、本人の意思に基づいて接種を判断いただくよう周知に努めている。

友好都市推進事業について

質問：イギリスのハル市とビバリー町に事前調査団として訪問した成果及び今後の具体的な取組を伺う。

教育長答弁：友好都市締結を目指すため、両首長に親書を渡した。町立学校ではハル市の学校とビデオレター交流を開始した。今後はさらなる交流を深めるため生徒海外派遣事業なども検討したい。

再質問：社会情勢を鑑み、安全性の観点から子どもを派遣するのは慎重に行っていただきたい。

教育長答弁：継続的な交流、訪問に向けて、方法や時期を慎重に検討していく。



動画でも視聴可能です。



岩本 久人 議員

答

問

公益性、必要性、公平性の観点をベースに
状況に応じた支援の在り方について検討していく

住民同士の交流継続、伝統文化継承のための
補助金の在り方について町の考えを問う



動画でも視聴可能です。

質問

町は各行政区、自治会、芸能保存団体等へ規則に基づき、補助金を交付しておりますが、住民同士の交流継続、伝統文化継承のための補助金等の支援の在り方について町として見直す考えがあるのか伺います。

町長答弁

双葉町復興まちづくり計画（第三次）の基本理念と基本目標のもと、各種団体における絆・結びつきや伝統文化継承の活動に係る補助金や助成金の支援につきまして、状況に応じた支援の在り方について検討してまいります。

再質問

自治会活動、婦人会、婦人学級、芸能文化団体などの活動での実態に即した手厚い旅費支給の見直し、各種団体、特に芸能保存会の関係、後継者不足の課題にどのように関わって支援していくのか伺います。

町長答弁

帰還促進や伝統芸能継承のため必要となるものについては事業内容を精査し、財源の確保も確認しながら検討していきたいと思っています。
後継者不足の対応、対策は、非常に悩ましい問題ですが、参加しやすい環境づくりなど、

再々質問

公益性、必要性、公平性の観点で補助金は交付されると思いますが、町長の考える補助金のあるべき姿を伺います。

町長答弁

公益、公平性が一番ベースになると思っています。そういった観点でしっかりと町として対応していくことが大切だと思っています。



<岩本議員のその他の質問（概要）>

令和5年度の重点施策・事業について

質問：令和5年度の重点施策・事業にどのように取り組むお考えか。

町長答弁：若い世代に積極的に参画いただける仕組みづくりをし、住みやすく、働きやすく、活動しやすい町を目指し、ハードとソフト両面で事業を推進していく。

再質問：町に戻られた方、居住されている方への支援状況と今後の支援策について伺う。

町長答弁：行政サービスを充足させたいと考えている。町内居住環境の充実に向けて臨機応変に対応していく。
また、多くの方に戻ってもらえるようハード・ソフト両面で取り組んでいきたい。

当町の文化財保護について

質問：指定以外の文化財も含め、今後どのように保護されるのか、町の考えを伺う。

教育長答弁：管理されている所有者の方々とともに、今後の保全管理の方法について、専門家等の意見を伺いながら保護に努めていく。

再質問：やむなく解体と判断する所有者もいるが、町ではどのように対応しているのか。

教育長答弁：町指定の文化財以外については、所有者の判断によるが、現場を確認しながら、対応している。

再々質問：できるだけ文化財をレスキューするお考えはあるのか。

教育長答弁：残せるものは残していきたいと考えており、所有者と協議し対応していく。



山根 辰洋 議員

質問

当町の復興再生においては、既存の取り組みを変化させることや新たな取り組みを創出させる力が求められています。全国で、民間人材を採用し、副業として民間のノウハウを生かしたまちづくり戦略を創出するという事例もあり、このような施策の可能性について町の考えを伺います。

町長答弁

町としての活用プログラムの構築など継続性のある民間人材登用の仕組みが重要であると考えています。

民間人材の登用について

問

答

民間のノウハウを生かしたまちづくり戦略について

町では施策の可能性があるか伺う

今後のまちづくり施策を推進するため

民間人材の活用について、検討していく

では、これまで実績のある派遣や委託、協定のほか、国の自治体DX推進計画策定による地方公共団体のDX推進に興味を示す民間企業がある中で、副業や兼業という採用を実施している自治体もあります。今後のまちづくり施策を推進するため、民間人材の活用について、採用方法などを含め検討してまいります。

再質問

先駆け事例として、広島県福山市が全国でも初めて自治体に副業、兼業を入れ、戦略推進マネジャーという形で採用しており、今までにない発想で戦略をつくったり、個人のネットワークを地

域に入れたりするなど活躍されているそうです。今までにない知恵を取り入れ戦略化してくれるような外部人材は重要だと思いますが、このような事例を踏まえた上で改めてその必要性について伺います。

町長答弁

ご存じのとおり、今の当町の復興状況、通常の自治体とはかなり形態が異なるというのもご理解いただきたいと思います。民間の活用も当然するべきではありますが、今の町の状況をご理解いただいた中で民間活用をしないと、町の復興の部分がスムーズにいかない可能性もあります。

<山根議員のその他の質問(概要)>

町内の危険な構造物等の対応について

質問 電柱倒壊の危険性や台風等による二次災害の可能性、また歩道の亀裂、段差による歩行者の転倒など、生活者や訪問者の安全性について懸念されますが、町としての対処方針や修繕計画について伺う。

町長答弁 関係機関等への確認により危険性が高いと判断される箇所については、早急な対応を実施していく。路面性状調査を踏まえ修繕計画を策定し、関係機関と情報共有を図りながら、構造物等の安全性を確保していく。

再質問 調査結果の公表の考えはあるのか。

町長答弁 ホームページ等で公表する予定である。

復興事業と地方創生事業を組み合わせたまちづくりについて

質問 デジタル田園都市構想にひもづく地方創生予算の活用方針があるか、町長のお考えを伺う。

町長答弁 今般の社会情勢の変化を踏まえたデジタルの活用は各種施策を実施するにあたり欠かせないものであり、復興状況や施策ニーズを勘案しながら、デジタル田園都市国家構想に関連した予算の活用も検討していく。



動画でも視聴可能です。

全員協議会

3月1日

環境省及び復興庁・内閣府並びに町執行部より下記の事項について説明が行われました。

<環境省>

「令和5年度の中間貯蔵施設事業の方針（案）の説明について」

<復興庁・内閣府>

「福島復興再生特別措置法の改正について」

<執行部>

「特定復興再生拠点区域外（中間貯蔵施設区域を除く）への住民帰還に向けた取り組みについて」



【復興庁・内閣府説明】

4月21日

下記の事項について協議しました。また、会議に先立ち、新規採用職員等の紹介が行われました。

<協議事項>

- ・令和4年9月13日に双葉町行政区長会から議会に対し提出された要望書に対する今後の対応について



【新規採用町職員等紹介】

5月18日

環境省より下記の事項について説明が行われました。

<環境省>

- ①クリーンセンターふたばの再開について
- ②中間貯蔵施設区域内における特定廃棄物選別場等の設置について
- ③中間貯蔵施設区域内への仮置場土砂の一時的な移設・保管について

埼玉県加須市議会正副議長 町内視察 3月17日

友好都市盟約を締結している埼玉県加須市議会の栗原肇議長と小林利一副議長が3月17日に来町し、中野地区復興産業拠点や旧特定復興再生拠点区域内を中心に視察されました。



中標津町議会 行政視察

5月15日、北海道中標津町議会総務文教常任委員会による行政視察が行われました。

【調査事項】

- ・人口減少対策、移住対策について

黒部市議会行政視察

5月22日、富山県黒部市議会総務文教委員会による行政視察が行われました。

【調査事項】

- ・復興まちづくりについて



議会だよりへのご意見・ご感想をお寄せください。

双葉町議会事務局

電話:0240-33-0309

FAX:0240-33-0310

メールアドレス:

gikai@town.futaba.fukushima.jp

議会の定例会は年4回(3月、6月、9月、12月)開催されます。

傍聴もできますのでお気軽にお越しください。

定例会の日程については、ホームページでお知らせいたします。

【お問い合わせ先】 議会事務局 ☎0240-33-0309

議会のこゝろ

3月

1日 議会運営委員会
議会全員協議会
4日 公明党福島復興加速化会議
8日、16日 令和5年第1回定例会

13日 議会全員協議会
総務教育常任委員会
産業厚生常任委員会
議会運営委員会
議会報編集委員会
双葉中学校卒業式
加須市議会正副議長町内視察
井上清子様百歳賀寿贈呈式
双葉南小・北小学校卒業式
ふたば幼稚園修了式



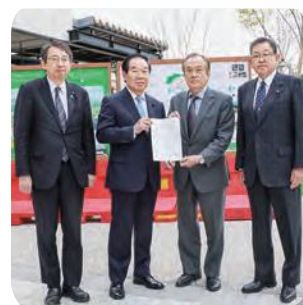
【井上清子様百歳賀寿贈呈式】

4月

6日 町立小・中学校合同入学式
町立ふたば幼稚園入園式
内堀雅雄福島県知事町内視察
自由民主党東日本大震災復興加速化本部町内視察

5月

20日 双葉地方町村議会議長会会議
議会全員協議会
21日 浅野撚系(株)双葉事業所竣工式
22日 双葉町相馬流れ山踊り保存会総会
28日 双葉町婦人会総会



【自民党東日本大震災復興加速化本部額賀福志郎本部長に対し要望書を手交】

3日 加須市民平和祭
騎西藤まつり
15日 北海道中標津町議会行政視察
17日 双葉地方町村議会議長会会議
18日 議会全員協議会
20日 町立幼稚園・小学校合同運動会
22日 原発事故による帰還困難区域を抱える町村の協議会中央要望活動
23日 富山県黒部市議会行政視察
26日 全国町村議会議長、副議長研修会
29日 双葉地方広域市町村圏組合
30日 双葉町商工会総会
31日 全国原子力発電所所在市町村協議会総会
福島県原子力発電所所在町協議会総会

編集後記

桜の花が満開を迎えたある日、加須市民2名が双葉町内を訪れました。町内を巡って、帰還困難区域内の朽ちた家屋や、立木が辺り一面に生い茂った田畑を見て驚愕していました。新聞、テレビでは、駅、役場等ばかりが報道されていたので、ほぼ綺麗に復興しているものと勘違いしていたようです。やはり、自分の目で見て確かめないと、解らないですよね。

今後とも「議会だよりふたば」をよろしく願っています。

(作本)

【編集委員会】



委員長 小川 貴永
副委員長 作本 信一
委員 石田 翼
委員 山根 辰洋